



2025年12月3日掲載

日銀利上げの可能性高まる

日銀の12月利上げの可能性が高まっています。一時的に株安の理由となるかもしれませんが、株価は次第に回復するとみています。

植田和男総裁は12月1日の講演で「(18日・19日に開く金融政策決定会合で)利上げの是非について適切に判断したい」と述べたのですが、これは、突発的な事件が起こるなどしない限り、利上げに傾いていることを意味していると受け止めてよいでしょう。

この発言を受けて、国債利回り上昇、円高、株安となりました。これまで「高市トレード」と称して、利上げの可能性は低い、放漫財政になる、円安が続くとみていた市場参加者がいったんポジションを閉じる方向に動いた可能性があります。

実際、高市早苗首相は当面の日銀の利上げを容認するとみられます。利上げが遅れると円安を通じてインフレ率が高くなってしまいうからです。アベノミクス時代の経済ブレーンたちからの利上げに反対する声も大きくないとみられます。そうすると、高市トレードはいったん巻き戻しとなり、短期金利上昇、円高、株安がしばらく続くかもしれません。

しかし、ポジションが整理されれば、株高に変わるとみています。高市政権が、日銀利上げを容認すること、2026年度予算案作成などを通じて財政が放漫ではないとの説明を重ねること、政策でインフレが弱まり賃金上昇で消費が強くなること、などを通じて、「シン・高市トレード」となるとみているからです。

「シン・高市トレード」では、金利上昇、円高は緩やかに進み、ITソフトウェア、建設、不動産、銀行など内需中心に株価指数が上昇するとみています。

(アモーヴァ・アセットマネジメント チーフ・ストラテジスト 神山 直樹)

※2025年9月1日、日興アセットマネジメント株式会社はアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更しました。

《本資料は執筆者の見解を記したものであり、当社としての見通しとは必ずしも一致しません。本資料のデータは各種の情報源から入手したものです。正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》